

剣道用品「取扱い上の注意」

松勘製剣道用品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。この剣道用品は、全剣連規格を中心に各種安全規格に基づいて製作された物です。正しい使用方法にてご使用頂けば、本来一番安全なスポーツである「剣道」を十分に楽しみ頂けます。製品の使用に当たっては、下記取扱い注意書きを良く理解して頂き、ご不明な点が有ればどのような事でもお買い上げ店に御相談頂き、事故の原因につながる安易な改造を絶対にされないようお願い申し上げます。

..... 面

- 【用途】 剣道以外での使用はお断り致します。
剣道をする時、頭部に装着する物で、竹刀での打ち、突きより頭や顔を保護する為の道具です。
- 【警告】 ▲ 下記事態の発生時は販売店に御持参ください。
*面金の物見(一番広い所)は15ミリ以下ですが、広がると竹刀の突入の可能性が有り危険です。
*面金の縦、横の棒が曲がっている物は危険です。
*金属で面金の接合部分を叩いて異音のした時、面金部分のどの部分でも破損したときは上記理由で危険です。
- 【注意】 ▲ 販売店に御持参ご相談ください。
*顎のぐらぐらした物、布団と顎の接続部分の破損した物、二重顎(内垂、突き垂、用心顎)が外れそうな物は竹刀で喉を突かれる可能性が有り修理が必要です。
*火打ち(天地)が外れそうな物、顔のサイズがあわない物は、顎、額が面の中に正しく収まらなると物見部分より目線が定まらず相手がよく見えず、修理が必要です。
*間違った着装や取り外し方法、顎を曲げたり、面金の中に異物を入れると面の機能が果たせず注意が必要です。

..... 胴

- 【用途】 剣道以外での使用はお断り致します。
剣道をする時、胸部に装着する物で、竹刀での打ち、突きより胸部や腹部を保護する為の道具です。
- 【注意】 ▲ 販売店に御持参ご相談ください。
*胴台の竹や合成胴台が破損した物は、竹や破損した胴台が皮膚に触れ切傷をする可能性が有り修理が必要です。
*胸の折れ、破損変形、綴じ革、胸・胴乳革(紐を縛る革)胴縁革の破損は胴が体から外れるおそれがあり、直に竹刀で打ち、突きを受ける可能性が有り、修理が必要です。
*竹刀以外の物で胴を叩いたり胴の上に乗ったりして、対剣道の圧力以上の荷重を掛け胴を破損させないで下さい。

..... 甲手

- 【用途】 剣道以外での使用はお断り致します。
剣道をする時、手に装着して竹刀を握り、打ち込み時腕や手首、拳を保護する為の道具です。
- 【警告】 ▲ 下記事態の発生時は販売店に御持参ください。
*指部分がはみ出ている物は突き指の可能性が有ります。
*甲手頭の芯材が無い物は拳の打撲の可能性が有ります。
- 【注意】 ▲ 販売店に御持参ご相談ください。
*手の内革の破損時は指がはみ出す恐れがあります。
*革の破れは芯材の飛散、紐の破損は保護部の露出、サイズの不適は握りが出来ず上記の可能性が有ります。

..... 垂

- 【用途】 剣道以外での使用はお断り致します。
剣道をする時、胴の内部の腰部に装着し、竹刀での打ち突きより腰や大腿部を保護する為の道具です。
- 【注意】 ▲ 販売店に御持参ご相談ください。
*大垂、小垂が帯より外れそうな時、紐の切れそうな時、垂と帯の止め部分の破損時は修理が必要です。

..... 剣道衣・袴

- 【用途】 剣道をする時着用する物で、剣道の激しい動きに対応し、吸汗、皮膚の保護の目的の為使用する。
- 【注意】 ▲ 販売店にご相談ください。
*洗濯時の縮みに注意し、短くなると露出部分が增大して保護部分が減少するので購入時にご相談下さい。
*袴の長いものも、踵を踏んで転倒する事もあり注意下さい。
*藍の抗菌解毒性や傷の化膿止めの為、わざと染料を色落ちさせていますから、洗濯は他の物へ色移りに注意下さい。

..... 竹刀

- 【用途】 剣道以外での使用はお断り致します。
剣道をする時、甲手を付けて竹刀を握り、打ち込み時、自分と相手の衝撃を減少させる為の道具です。
- 【警告】 ▲ 改造は絶対に止めて下さい。
*竹刀は全剣連通達値を厳守して制作してあります。先端を細く削ると、面金に突入の恐れが有り危険です。
*先端径や重量値が適合値でも、個人で竹を加工したり部分(特に先芯等)を抜いての使用は危険です。
- 【注意】 ▲ 販売店に御持参ご相談ください。
*竹刀は使用前に、割れ、ささくれ、先革の破損、指で押さえて先芯、中締め、弦、柄革等を必ず点検して下さい。
*稽古の最中でも、竹割れや異音が発生した時は直ちに使用を中止して、竹刀全体を注意点検して下さい。
*長期使用の竹刀については竹の経年劣化に注意下さい。

..... 木刀(杖、薙刀含む)

- 【用途】 武道以外での使用はお断り致します。
武道の「素振り」「型」の演技や練習の為の道具です。
- 【警告】 ▲ 改造は絶対に止めて下さい。
*人や物を直撃すると致命傷を与える場合が有ります。
*素振りでも武道以外は、人や物に向けしないで下さい。
*個人での加工は折れる恐れがあり危険です。

..... 居合刀

- 【用途】 武道以外での使用はお断り致します。
ご購入されたお客様は、十分な管理をお願いいたします。これを怠りますと生命にかかわる重大な事故となる可能性があります。
- 【注意】 ▲ 販売店にご持参・ご相談・修理をご依頼ください。
*刀身に深い傷がついた場合、また浅い傷でもキズによっては折れる可能性がありますので、販売店にご相談ください。
*目釘についても、緩んでいないか、折れていないか確実に点検してください。
*修理は絶対に自分でしないでください。
*ご使用前に、周囲に危険のないことを確認の上、素振りを行い、刀身の安全確認・点検を習慣にしてください。

..... 漆塗り(天然漆塗り)

- 漆塗り胴、漆塗り面縁革、漆塗り皮革、毒性、危険性、有害性は有りません。
- 【警告】 ▲ 体質によりかぶれる場合が有ります。
*かゆみを感じたらすぐ使用を止めて下さい。
*かぶれたと感じたら、患部を植物油で拭いた後石鹸で良く洗淨し、医師の診断を受けて下さい。

メンテナンス

《剣道防具》

面

使用後すぐに乾いた手ぬぐいなどでふきとり、風通しのいい場所で陰干し乾燥させます。特に内輪は最も汗を吸う場所ですから、念入りにふき取ってください。アゴ汗取りを交換して使用すると長持ちします。手入れが済んだら布団を折り曲げ、型をつけて保管してください。

胴

面・甲手に比べもっとも傷みにくいものですが、胸の部分に汗が若干染み込みますので、陰干しをお勧めします。竹胴に関して長く使わない場合には、水分が抜けると幅が狭くなるので、ささえを入れて固定して下さい。

甲手

防具の中でもっとも革を多く使用していますので、「革」に対する注意が必要です。使用後に陰干し、ブラシがけ、手の内のみほぐしを行ってください。直射日光での乾燥は絶対に避けてください。革がカラカラになり使用できなくなる場合があります。いいものを長くご使用にになりたい場合はスベアの甲手を持ち、交互にご使用されることをお勧めします。

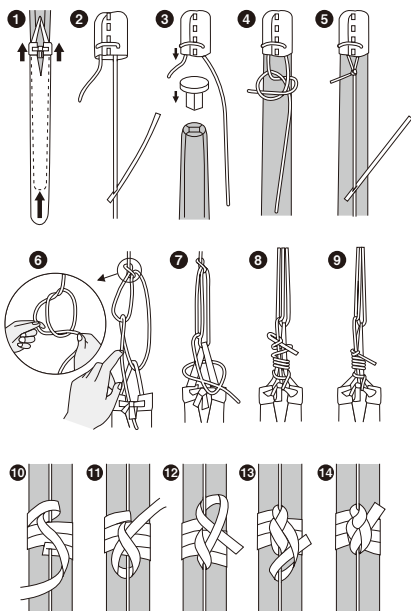
垂

胴と重なりあう部分が、傷みやすいのでこまめに点検してください。また大垂の付け根部分のヘリは傷みやすいですから、すり破れがありましたらなるべく早めの補強修理をお勧めします。

《藍染商品…剣道衣・綿袴》

藍には抗菌性、解毒性があり、傷口の化膿を防ぐ働きがありますが、通常の染料と違って色落ちしますので、他の洗濯物とは一緒に洗わないで下さい。漂白剤や洗濯機、乾燥機は絶対にご使用にならないで下さい。極端な色落ちや縮みの原因となります。袴はひだがなくならないように、折りたたんだ状態で押し洗いをしてください。

竹刀の組立て方



サイズの測り方

《剣道》

面寸法の測り方とサイズ

縦: 脳天より耳の前、アゴの先端を通り一廻り。
横: (鉢巻の状態)額より耳の上、後頭部を通り一廻り。



(注)面長、丸顔、眼鏡使用など、特徴を明記して下さい。

- ◎横廻り: 53cm以下
- ◎縦廻り: 62cm以下
- ◎横廻り: 52~54cm
- ◎縦廻り: 63~65cm
- ◎横廻り: 55~57cm
- ◎縦廻り: 66~68cm
- ◎横廻り: 58~59cm
- ◎縦廻り: 69~71cm
- ◎横廻り: 60cm以上
- ◎縦廻り: 72cm以上
- ※LL以上の方は価格20%増

胴寸法の測り方とサイズ

胴の両端中央部の内側直径(抱き)寸法、身長、体重、特徴等を明記して下さい。



- ◎ウエスト: 65cm以下
- ◎抱き(27~32cm)
- ◎ウエスト: 65~75cm
- ◎抱き(31~36cm)
- ◎ウエスト: 75~85cm
- ◎抱き(35~38cm)
- ◎ウエスト: 85~95cm
- ◎抱き(37~40cm)

甲手寸法の測り方とサイズ

縦: 指の先から手首まで。
横: 手の甲(親指をぬかす)を一廻り。

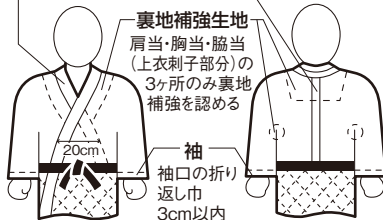


- ◎横廻り: 18cm以下
- ◎縦: 16cm以下
- ◎横廻り: 19~21cm
- ◎縦: 17~18cm
- ◎横廻り: 20~22cm
- ◎縦: 18~19cm
- ◎横廻り: 23cm以上
- ◎縦: 20cm
- ※大型甲手/LL以上の方は価格20%増

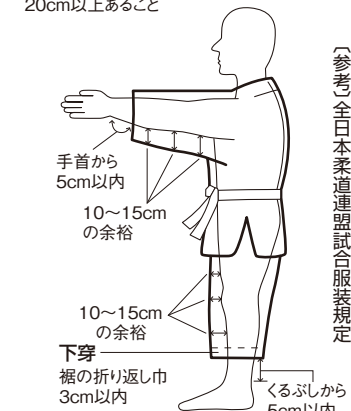
《柔道》

- 測定時には両腕を肩の高さで前方にまっすぐ伸ばし直立して行います。
- 素材は綿100%あるいは綿混率の高いもの(70%)を使用し手触りのよいもの。

襟 巾4cm以上5cm以内 厚み1cm以内
背中 背中で縫合される場合、縫い合わせ巾(背縫ぎ)3cm以内



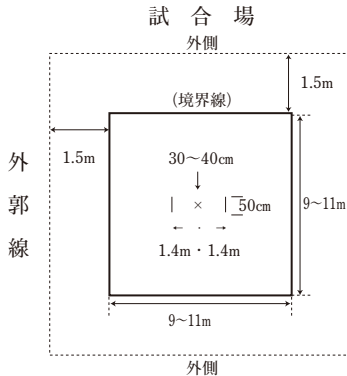
※胸および脇の下の柔道衣の余裕が20cm以上あること



【参考】全日本柔道連盟試合服装規定

試合規則

《剣道 全日本剣道連盟試合規則》



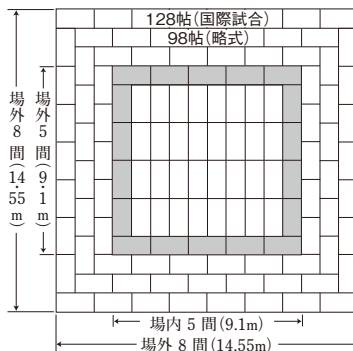
図のように、縦横とも9~11mの広さを要する。各線は5~10cmの白線とする。なお試合場外の周囲には1.5m以上の余地を有する外郭線を設ける必要がある。

試合時間

- ①試合時間は5分を基準とする
- ②延長戦の時間は3分を基準とする

《柔道 講道館柔道試合審判規定》

(講道館柔道試合場の規定と畳の敷き方)



試合は原則として14.55m(8間)四方として中央に9.1m(5間)四方の場内を設け、これに畳50枚を敷き、その外側の周囲2.73m(1間半)にマット又は畳を敷きつめ場内と場外との区別を明確にするため、その境界線の内側に巾90cm(3尺)の赤い標識をつける。

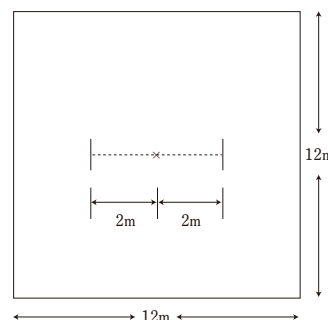
審判員は主審1名、副審2名をもって原則とする。場合によって各1名、又は審判員1名でもよい。

試合時間は3分から20の間であらかじめ定めるものとする。

但し試合時間の延長を行うことができる。

《なぎなた》

なぎなた競技試合場



12m四方中心より左・右各2mの線(立合線)ラインテープ白50mm



剣道防具注文書

※コピーをとってご使用ください。

年 月 日

セット 注文 [品番・銘]	単品防具		面			
			胴			
			甲手			
			垂			
曙光 カラー ※P.21~P.24 を参照ください。	No.	名称	希望納期	年 月 日		
	外糸()		身長	cm		
	内糸()		体重	kg		
			ウェスト	cm		
(胴台)	胴種類	/No.	名称	※変わり塗り、規格外の時のみご記入下さい。		
サイズ	◆面採寸 A:縦周り cm B:横周り cm C:物見 cm <input type="checkbox"/> 眼鏡仕様 ※5000円+税UP ※納期1.5~2ヶ月 1.普通 2.丸顔 3.面長		◆胴採寸 1.内寸法 cm		◆甲手採寸 A:縦 cm B:横周り cm 1.指長 2.肉厚 3.普通	
	面金種類・サイズ		面布団寸法		× cm ※ご指定のあるお客様のみご記入下さい。	
ネーム 個人名入	カラー 糸色 ※価格はP.28 色目はP.62を参照ください。	生地 <input type="checkbox"/> 右記より お選びください。	紺木綿	ミシン縫	家紋	※P.128をご参照ください。
			紺木綿	手縫い	No.	
			紺クラリーノ	手縫い	紋名	
			茶クラリーノ	手縫い	1.高蒔絵(盛上げ) 2.平蒔絵	
			茶革	手縫い	サイズ・色目を必要でしたらご指定ください。 通常は金色・9分紋(約2.7cm)になります。	
氏名	男・女 TEL() -					
住所	〒 -					
取扱店						
備考						

※お客様の個人情報を第三者に対して、開示または提供することは致しません。